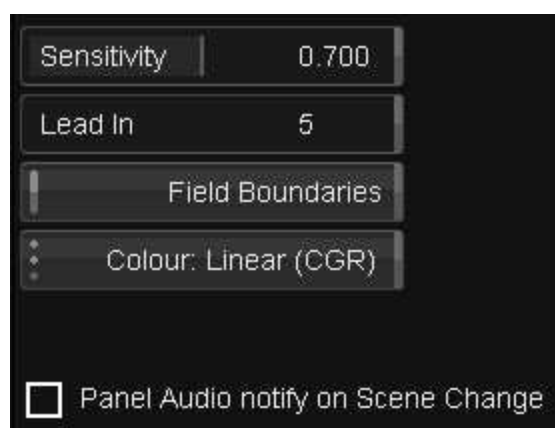


シーン検出モジュールは、連続しているセグメントのシーンチェンジを自動的に検出し、編集点を追加します。このモジュールが有効になっていると、タイムラインのカレントポジションから検出を始めます。

設定



シーン検出を設定するために、*Scene Detect* タブに切り替えます。



パラメータ

Sensitivity

このスライダーは、シーンチェンジを検出するための感度を調整します。低い値は、低い感度でシーンが検出されるので、この場合シーンチェンジを検出するためにカット点が明白でないといけません。また、高い値は、より敏感にシーンを検出するので、少しのシーンチェンジがある場所でも、細かく編集点を追加します。この値が高すぎると、思わぬ場所に編集点が追加されてしまうかもしれません。一方、この値が低すぎると、シーンチェンジが検出されないかもしれません。

Lead In

このスライダーは、次の編集点を追加する前に、セグメントに残したいフレーム数を定義します。デフォルト値は5フレームです。

sensitivity設定を最高値にした場合、各フレームにシーンを検出するかもしれませんが、この設定をデフォルト値のままにしておけば、5フレーム毎に編集点が追加されます。

Field Boundarie

このオプションが有効の場合、インタレース素材のフィールドの境界に編集点を追加することもできます。インタレース素材で作業している場合、フレーム間とは対照的にフィールド間でシーンチェンジが発生することもあります。このオプションがオフの場合は、シーンチェンジが実際に発生する場所よりもフレーム単位で編集点が追加されます。

Colour

シーン検出は、素材のカラーフォーマットに左右され、特に $Linear$ か Log かによって異なります。デフォルト設定は、プロジェクトのカラースケール設定から受け継がれます。正しい値で設定されないと、正しいシーンチェンジの検出ができません。

Panel Audio Notify

このオプションが有効の場合、シーンチェンジが検出される時に音で通知します。音は、コントロールパネルから出力されます。

使用方法

設定が調整できたら、*Timeline*タブに切り替えて、カット点を追加したいセグメントのスタートにポジションバーを移動します。

★シーン検出作業を行う場合、ビデオトラックは選択して有効にしておかなければいけません。

シーン検出のプロセスを開始するには、**シーン検出**ボタンをオンにします：



タイムラインに編集点が表示され、*Library*画面には進捗状況が表示されます：



シーン検出ボタンをオフにすると、シーンの検出が停止します。